

## 勘定奉行クラウドの「消費税改正」に伴う 汎用データ受入形式 の変更点

勘定奉行クラウドの消費税改正「消費税10%・軽減税率」対応に伴う、変更点をご説明します。

- 製品上の対応
- 汎用データ受入（仕訳伝票）に関連する、お客様・パートナー様の対応
- 汎用データ受入（勘定科目・補助科目）に関連する、お客様・パートナー様の対応

### 【製品上の対応】

新税率10%施行日（2019年10月1日）以後での8%軽減税率の取引入力のため、「消費税率種別」項目を新たに追加しました。

取引内容	消費税率種別	消費税率
・ 軽減税率の取引	1：軽減	8%
・ 上記以外の新税率の取引	0：標準	10%
・ 経過措置の取引（旧税率）	0：標準	8% または 5%

○ 『8%軽減税率の取引』を登録する際は、「消費税率種別」項目に「1：軽減」を設定します。

○ 勘定科目または補助科目に「消費税率種別」を設定できます。

例1) 会議費のお茶代

「会議費」の補助科目「茶菓子代」の消費税率種別に「1：軽減」を設定します。

例2) 飲食料品を取り扱う事業者の売上げ・仕入れ

勘定科目「売上高」「仕入高」の消費税率種別に「1：軽減」を設定します。

○ 仕訳伝票の汎用データに「消費税率種別」を設定していない（空白の）場合には、勘定科目または補助科目にしたがって設定されます。

※ 伝票日付が2019年10月1日より前の場合は、必ず「0：標準」で設定されます。

また、「消費税率」を設定していない（空白の）場合には、伝票日付と「消費税率種別」をもとに設定されます。

伝票日付	消費税率種別		受入結果（消費税率）
・ 2019年10月1日 <u>より前</u>	0：標準	➡	8%
・ 2019年10月1日 <u>以後</u>	0：標準	➡	10%
・ //	1：軽減	➡	8%

○ 製品上の「消費税率」表記が変更されます。

例) 「8.0%」→「8%」

---

## 【汎用データ受入（仕訳伝票）に関連する、お客様・パートナー様の対応】

---

仕訳伝票データの汎用データ受入で、『8%軽減税率の取引』を取り込む機能が搭載されます。

※ 新たに「消費税率種別」の受入記号（受入項目）が追加されます。

### 《お客様・パートナー様の対応》

『新税率10%の取引』だけで『8%軽減税率の取引』を取り込まない場合には、今までの受入形式のまま**変更の必要はありません。**

『8%軽減税率の取引』や『経過措置の取引』を取り込む場合には、以下のいずれかで対応が異なります。

- ・ 勘定科目または補助科目の「消費税率種別」の設定にしたがう
- ・ 汎用データで「消費税率」を必ずセットする

#### ■ 勘定科目または補助科目の「消費税率種別」の設定にしたがう場合

- 『8%軽減税率の取引』を取り込む場合には、  
事前に、勘定科目または補助科目に「消費税率種別（1：軽減）」を設定します。  
※ [勘定科目] メニュー・[補助科目] メニュー
- 受入項目「消費税率」の対応は、今まで値をセットしているかにより異なります。
  - ▼ 「消費税率」をセットしていない場合
  - ▼ 『経過措置の取引』の場合だけ「消費税率」をセットしている場合  
※ 『新税率の取引』の場合は「消費税率」をセットしていない場合  
→ **変更の必要はありません。**
  - ▼ 「消費税率」を必ずセットしている場合  
→ 『新税率の取引』『8%軽減税率の取引』の場合は、「消費税率」をセットしないように変更します。

#### ■ 汎用データで「消費税率」を必ずセットする場合

- 『8%軽減税率の取引』を取り込む場合には、  
汎用データに、新たに「消費税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。  
また、取引内容に応じて値をセットします。
  - ・ 8%軽減税率の取引 → 「1：軽減」
  - ・ 新税率の取引 → 「0：標準」または「空白」
  - ・ 経過措置の取引 → //
- 施行日以降、受入項目「消費税率」には取引内容に応じて値をセットします。
  - ・ 8%軽減税率の取引 → 「8」
  - ・ 新税率の取引 → 「10」
  - ・ 経過措置の取引 → 「8」

---

## 【汎用データ受入（勘定科目・補助科目）に関連する、お客様・パートナー様の対応】

---

勘定科目・補助科目データの汎用データ受入で、科目ごとに「標準税率」「軽減税率」を設定する機能が搭載されます。

※ 新たに「消費税率種別」の受入記号（受入項目）が追加されます。

### 《お客様・パートナー様の対応》

『8%軽減税率の取引』を起票時に、以下のいずれかで対応が異なります。

- ・ 勘定科目または補助科目の「消費税率種別」の設定にしたがう
- ・ 手入力で、消費税率を「8%軽減税率」に切り替える

- 勘定科目または補助科目の「消費税率種別」の設定にしたがう場合  
汎用データに、新たに「消費税率種別」の受入記号（受入項目）を追加します。

また、科目に応じて値をセットします。

- ・ 「軽減税率」の取引で使用する科目 → 「1：軽減」
- ・ 「標準税率」                      "                      → 「0：標準」または「空白」

- 手入力で、消費税率を「8%軽減税率」に切り替える場合  
→ 変更の必要はありません。